

「ゆいの森」建設も最終段階… その内部をのぞいてみると…



用地費	購入費	16億1,500万円
	土壤汚染対策	3,839万円
設計費	基本	2億2,495万円
	実施	
工事費	監理費	9,581万円
	建築工事	41億4,072万円
	電気	6億7,986万円
	給排水	2億0,952万円
	空調	6億5,384万円
	昇降機	1億6,020万円
	閉架書架	1億1,199万円
	図書購入	2億9,930万円
開架書架(3・4階)		4,316万円
文学館展示		1億6,729万円
合計		84億4,009万円

星空学習設備なども購入が検討されています。吉村昭文学館関連費用と事務用品などで約9千万円など合計6億2千万円で、総計で90億円を超えることになります。

…これが戦後の出発点です。いま、安倍内閣は、この憲法を敵視し、戦後日本国民の原点である憲法9条を「改正」、軍隊を持ち海外で無限定に武力行使が出来る国に変えようとしています。そこには



「帝國陸海軍は…米英軍と戦闘状態に入れり」の大本當發表で始まり、広島長崎への原爆投下など歴史上最悪の慘禍を経て戦争は終わった

丁目・図書館など複合施設
5階建て延べ床1万m²の建
物が4階まで立ち上がつて
います。

文教子育て委員会で現地
視察があり、その様子を聞
てみました。

地下駐車場のスロープを
りると地下の免震装置が45
揺れを抑えるダンパーが8
計53基ついており、震度7

も耐えるといいます（写真上）
一階は子ども図書館、絵本
館、カフェなどがあります
(写真下)。エスカレーター
・階段を上ると吉村昭記念
館につながっていきます。

事業費はこれまでに84億4千万円を超えていきます。

戦後71回目の終戦記念日に思つたこと
二度と戦争はしない決意を示した憲法9条こそ原点

アジア太平洋戦争が終結して71年を経過しました。戦争を直接体験した世代が少なくなつて来た今だからこそ、歴史に学び、リアルな想像力を發揮できる世代を積み重ねて行くことが大事だと思いました。あらためて憲法の前文を思い起します。「日本国民は…政

「植民地支配と侵略」の事実を認めない歴史観があると思います。同時に、戦争への想像力の欠如があると思うのです。国際的な紛争やもめ事を戦争にしないことが政治の仕事です。戦争への反省の欠落からくる憲法9条改憲の企てを許さない決意を新たに…横山幸次

戦後71回目の終戦記念日に思つたこと
二度と戦争はしない決意を示した憲法9条こそ原点

90億円を超える総事業費：
真に区民に役立ち喜ばれる施設へ



横山幸次

区政報告 ニュース

No. 623
2016年8月21日
発行 日本共产党区議
TEL3802-4627
fax3806-9246
メール arajcp@tcn-c
v.ne.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

裏面 区の洪水ハザード マップについて…など

定期法律相談会
9月5日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

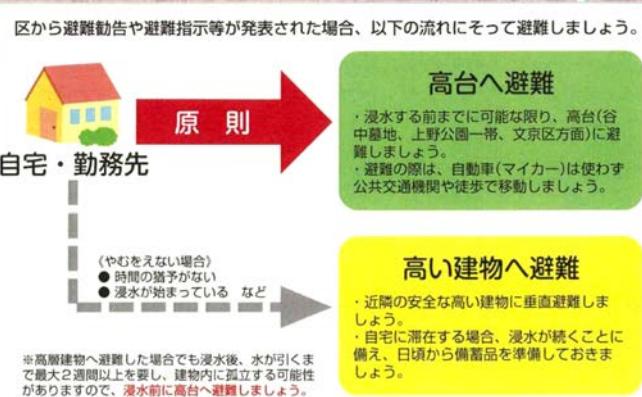
弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、隨時受付ています。

TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



荒川区「新」洪水ハザードマップ・広域避難を想定



編「改訂」にあたって、今回初めて水害・水没の基本的な避難の考え方を区外への高台避難を基本とする「案」が区議会震災対策調査特別委員会に報告されました。しかし、荒川区民だけでも

避難計画とともに堤防強化など治水対策も

荒川区地域防災計画の水害

20万人近くさらに足立区など

のみなんさんが文京区や台東区の一部に数十万人規模で避難する想定は、受け入れ地域の施設・体制など課題山積みです。東京都、近隣区との協議を行い、現実的な計画にすることが求められています。

合わせて、マンションや公共施設の3階～5階以上の建物避難も想定し、建物指定する計画です。

今後、危険性を訴えるマッ

プの作成・配布をする予定で

すが、実際に役立つよう、

区・都ともしっかりと対策

が必要です。



200年、1000年に一度という豪雨によって、荒川の岩淵水門の上流域での堤防決壊によって荒川区では、一部を除き全域で約3～5m程度の水没が想定されています。最悪の場合二週間程度水がひかずに水没状態が続くことが想定されています。

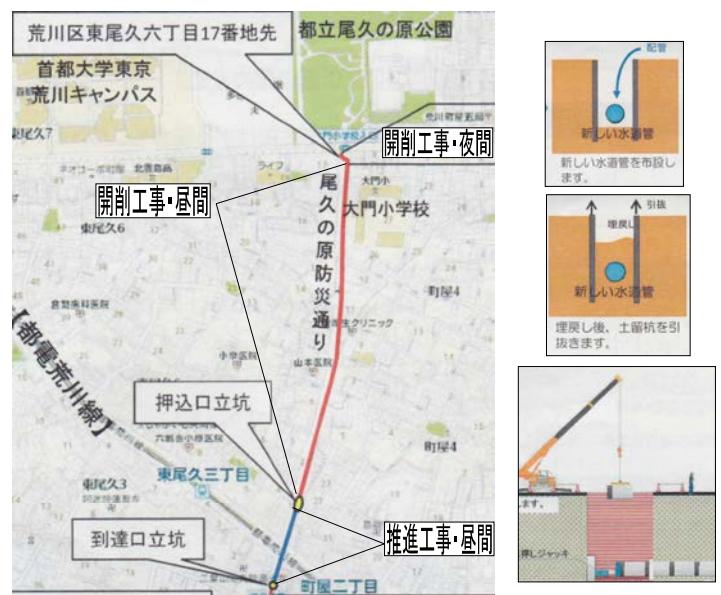
ただし、浸水が区内に到達するのには数時間かかるとされています。

同時に、堤防決壊は、北区のJR鉄道橋など堤防を一部切り下げる部分を想定しています。その他下流には自然堤防のままのところもあります。弱点になっています。その他の下流には嵩上げ自然堤防の改善なども急がれます。

みなさんのご意見もお寄せ下さい。

尾久の原防災通りで水道工事今年9月から約2年間点

都水道局は、尾久の原防災通りの公園側から都電踏切の先までの水道管の新設工事(500mm管)を行います。漏水事故や災害発生時などにおいても安定的に水を供給するためとしています。必要だと思いますが、長期に及ぶ工事で学校などの近接し騒音・振動、安全対策など万全を期して欲しいものです。



統廃合と学校選択の結末は日暮里地域は教室が足りない

ひぐらし小学校は第四日暮里小学校と真土小学校の統廃合で出来た学校。真土小から1991年新校舎(4日小跡)に移りました。当初は全学年2クラスで想定して学校をつくりましたが、マンション建設も進み児童数が増加、パソコンルームやランチルームなどを普通教室に転用しての対応です。それでも不足が見込まれ、校舎内のひろば館と学童クラブを学校庭園に移し普通教室にして、来年4月から使うことになります。来年1年生の学区内児童数予測は95名で3クラス募集を予定しています。

日暮里地域の中学校は4校廃合で、諏訪台中学校だけ。学区内生徒数は諏訪中の受入れ可能数を100近く超えていますが、私立等への入学でかろうじて通学区域内入学希望者の受入れが出来ていますが、来年度は一クラス増やして受入れ数を増やします。

隣地の土地購入も上手くいかず、マンション建設も続いています。

文教子育て委員会でも他会派議員から「新しく学校をつくる。建替え中は真土小跡に仮設。真土小の復活も」「道灌中の跡地、再開発の中で学校をつくる」などの意見も出たようです。